

アセンテック株式会社
2018年1月期
第2四半期
決算説明会資料

東証マザーズ 証券コード3565

Copyright Ascentech K.K. All right reserved.

■ 1

2018年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2018年1月期 第2四半期業績進捗

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

事業戦略の進捗

■ 第2四半期までの好調な業績を踏まえ、 2018年1月期（当期）の中間業績予想を上方修正

	期初発表予想		修正結果	増減額
売上高	1,600	➡➡	2,150	550 ↑
営業利益	60	➡➡	200	140 ↑
経常利益	62	➡➡	200	138 ↑
当期純利益	43	➡➡	135	92 ↑

単位(百万円)

前年同期比で54%増収、98%増益。前期通期の当期純利益を超える結果。

2017年1月期
第2四半期累計実績

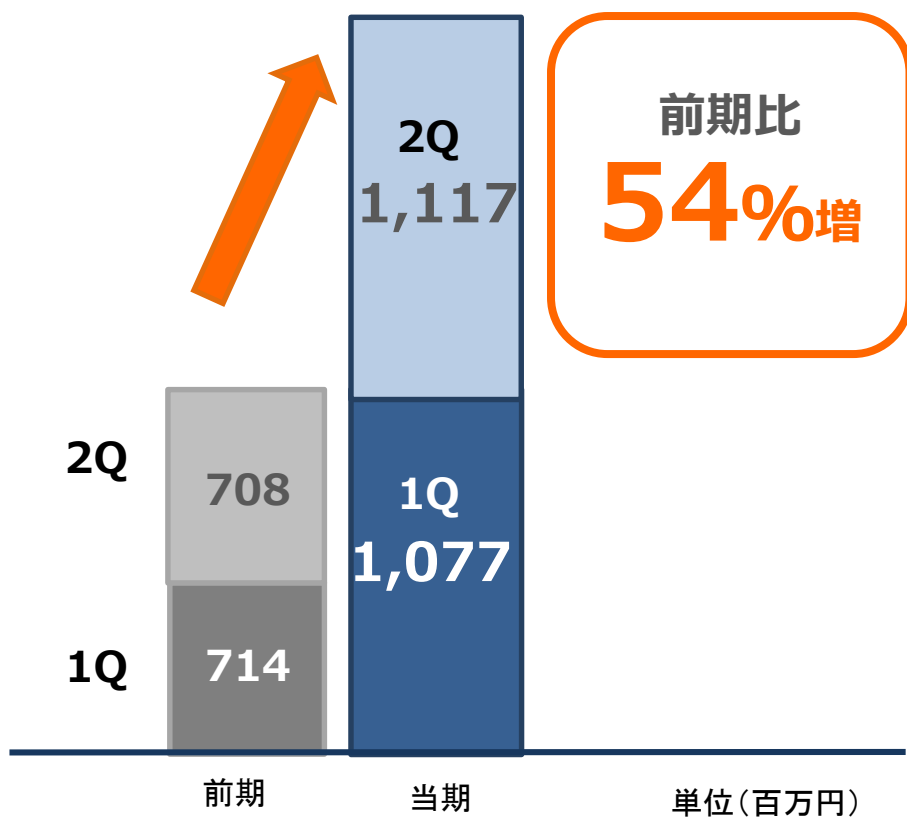
2018年1月期第2四半期累計実績

2017年1月期
前期通期実績

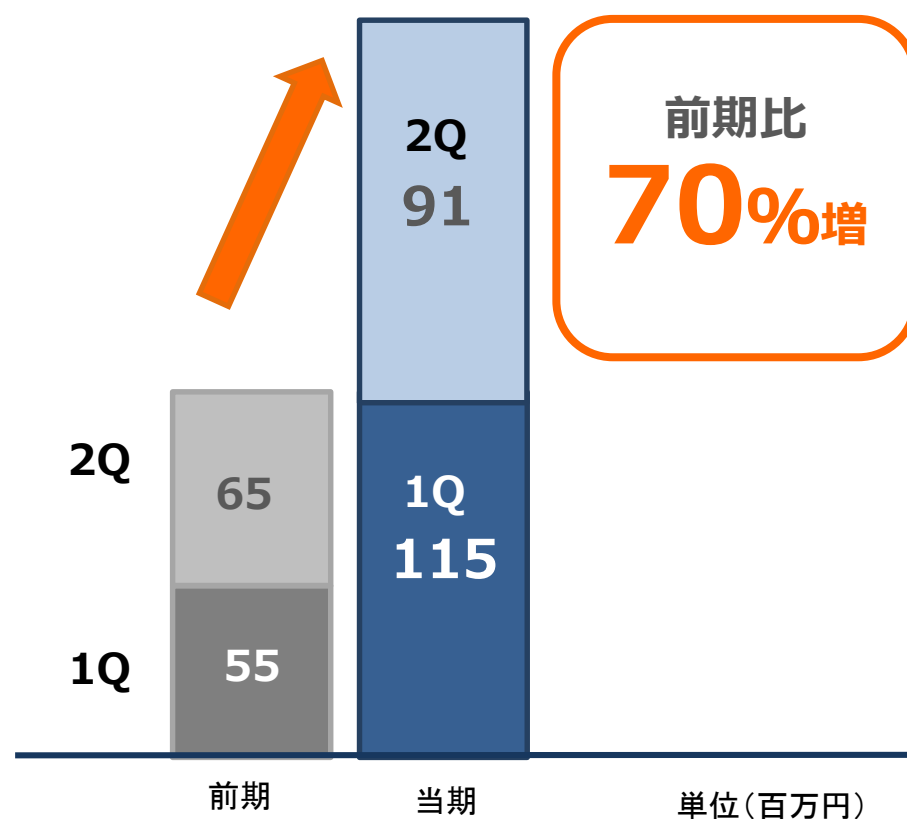
(単位：百万円)	金額	%	金額	%	増減額	増減%	金額	%
売上高	1,422	100.0	2,194	100.0	771	54.2%	3,275	100.0
売上原価	1,131	79.5	1,781	81.2	649	57.4%	2,638	80.6
売上総利益	291	20.5	413	18.8	122	41.9%	636	19.4
販売費及び 一般管理費	169	11.9	206	9.4	37	21.8%	388	11.9
営業利益	121	8.5	206	9.4	85	70.2%	248	7.6
経常利益	110	7.8	204	9.3	94	85.3%	217	6.6
四半期純利益	71	5.0	141	6.4	69	98.9%	140	4.3

■ 第1四半期、第2四半期ともに前期より大幅に増加

売上高



営業利益



売上高・営業利益ともに増収増益

第2四半期累計期間

増減率

売上高	2,194百万円	54.2%増
営業利益	206百万円	70.2%増

業績好調の主たる要因

- ✓ 働き方改革に向けた**テレワーク導入案件等の増加**に伴い、そのキーテクノロジーである**仮想デスクトップビジネス**の事業領域が堅調に推移。
- ✓ VDI関連の**プロフェッショナルサービス**が好調。
- ✓ SSD の技術進化とコスト低減により急速に世代交代が進み、フラッシュストレージを中心とした**先進ストレージ**需要が増加。仮想インフラ及び**ストレージ**の事業領域も好調。

■ 1

2018年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2018年1月期 第2四半期業績進捗

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

事業戦略の進捗

2018年1月期 通期予算の概要（4月25日発表）

期首時点では売上高16.0%増、当期純利益14.2%増の見込み

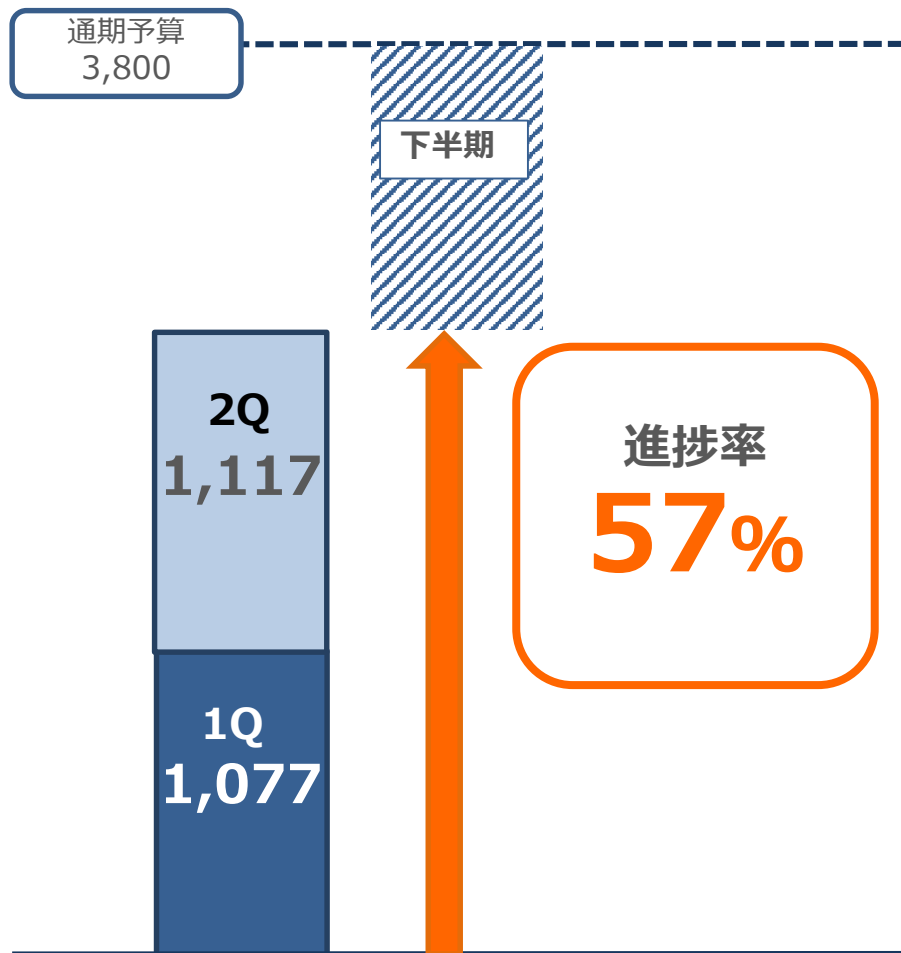
(単位：百万円)	2018年1月期 通期予算		2018年1月期 上期		2018年1月期 下期	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	3,800	100.0	1,600	100.0	2,200	100.0
売上原価	3,145	82.8	1,335	83.4	1,810	82.3
売上総利益	655	17.2	265	16.6	390	17.7
販売費及び 一般管理費	425	11.2	205	12.8	220	10.0
営業利益	230	6.1	60	3.8	170	7.7
経常利益	232	6.1	62	3.9	170	7.7
当期純利益	160	4.2	43	2.7	117	5.3

付加価値の高い製品・サービスが好調に推移し、通期予算に対して高い進捗率

(単位：百万円)	2018年1月期 通期見通し		2018年1月期第2四半期累計実績		
	金額	%	金額	%	進捗率
売上高	3,800	100.0	2,194	100.0	57.7%
売上原価	3,145	82.8	1,781	81.2	56.6%
売上総利益	655	17.2	413	18.8	63.1%
販売費及び 一般管理費	425	11.2	206	9.4	48.7%
営業利益	230	6.1	206	9.4	89.7%
経常利益	232	6.1	204	9.3	88.3%
四半期純利益	160	4.2	141	6.4	88.2%

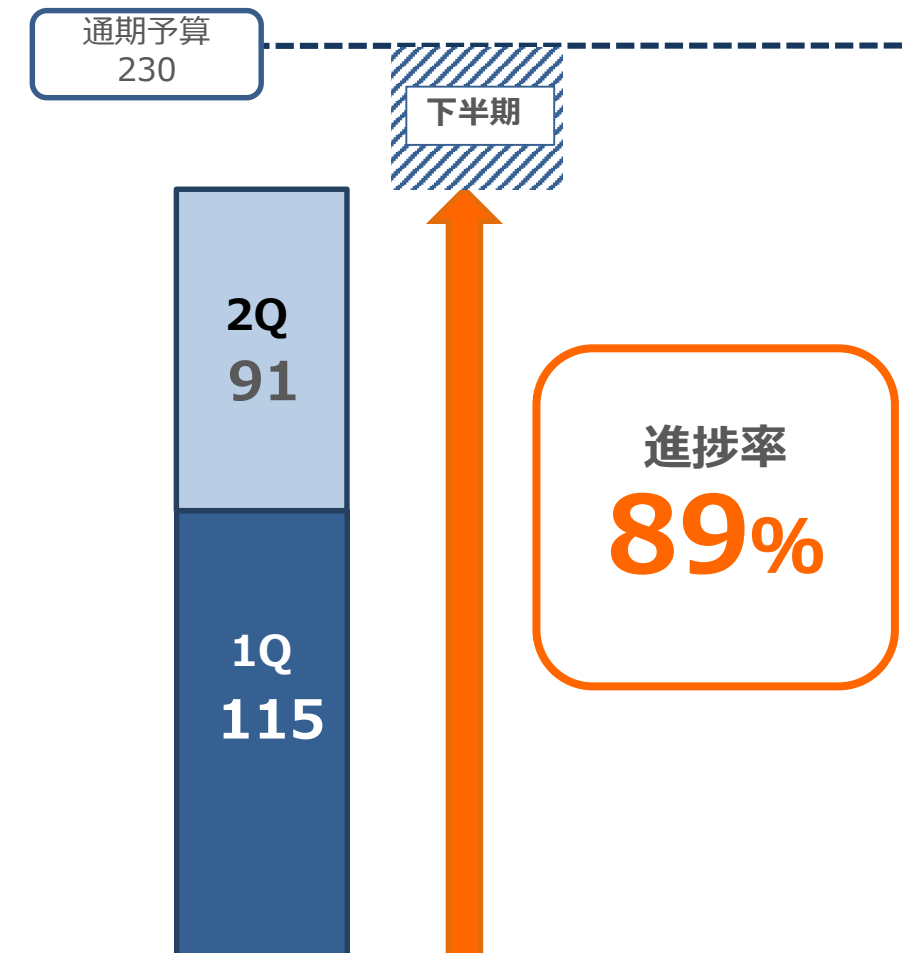
上場関連費用や本社移転費用などの費用増加要因はあるものの、増収効果により吸収し、引き続き増益を見込む

売上高進捗



単位(百万円)

営業利益進捗



単位(百万円)

■ 1

2018年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2018年1月期 第2四半期業績進捗

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

事業戦略の進捗

導入事例：バイタルケーエスケーHD



ascentech Ascentech Atrust 導入事例
バイタルケーエスケー・ホールディングス
 VITAL KSK HOLDINGS, INC.

Atrust

地域の“ライフライン”、医薬品の安定供給を担うバイタルネット
 シンククライアントで実現した営業社員の機動性。そして、働き方改革へ

**「地域・コミュニティのヘルスケアパートナー」
 バイタルネット**

バイタルケーエスケー・ホールディングスは、本社と、その中核事業会社であるバイタルネット、ケーエスケーなどで構成されています。そのうち、仮想デスクトップを導入、活用し、今更には早く、先進的なAtrust製品を導入したのがバイタルネットです。バイタルネットは、東北6県、および新潟県を中心に関東圏まで、医薬品の供給を始め、地域に密着したヘルスケアサービスの提供を幅広く行っています。コア事業は、1万種類以上の医薬品を、病院、調剤薬局、一般薬局へ提供する医薬品卸売事業であり、これに加え、介護サービスや自社ヘルスケアブランド製品の提供などにも及び「地域・コミュニティのヘルスケアパートナー」として、地域に欠かすことのできない、ヘルスケア中核企業として重要な役割を担っています。

**どんな時も継続的に医薬品を提供し続ける
 バイタルネットを支える情報システムインフラ**

バイタルネットは、2010年、いち早く社内システムの仮想デスクトップ化を実現しました。この背景には、いまに至るまで企業において大きな課題となっている情報漏えい問題に加え、PC環境における運用管理課題の解決という側面が大きかったと言えます。53名の拠点に対して、限られた人数での運用管理業務は非常に煩雑なものであり、潜在的に極めて大きなコストとなっていました。さらには大きな背景となっていたのは、BOP(事業継続計画)の側面です。これについて株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス取締役 一峰 宏氏は次のように語っています。「医薬品卸は、必要な医薬品を必要な時に、必要な量を適切に提供

する使命があります。これは、医薬品を必要とする多くの方々の生命に大きく関わる業務であり、一つのライフラインと言ってもよい役割を担っています。バイタルネットの情報システムインフラは、どのような非常時でも継続的に、常に適切に稼働し、この医薬品インフラを支えなければなりません。このため、必要なリソース、データをサーバ側に集約、分散したデータセンターで管理を行い、また、端末側においては、必要な情報に対し、いかなる場所や時間であってもアクセス可能な仮想デスクトップおよびシンククライアントソリューションは、まさにBCPの側面でも申し分のないものであり、いち早くバイタルネットが仮想デスクトップを採用した、一つの大きな側面と言えるでしょう。」

新たに営業部門が仮想デスクトップ導入へ

「2010年に仮想デスクトップ導入を行ったのは業務部門でした。この際に特に留意したことはネットワークです。新潟、東北地方を中心に53ヶ所に及ぶ拠点があり、その各拠点の在庫を一覧管理し、その情報に連携なくアクセスするには十分なネットワーク環境が必要だと認識していました。この時に、十分なネットワーク環境を確保した販売物流システムは、バイタルネットの流通網を構築し、医薬品の提供というライフラインをこれまで以上に機能させることが可能となりました。そして、この2016年のシステム更新において、その情報網をさらに活用するために、新たに仮想デスクトップ導入を検討されたのが営業部門です。これまでは業務部門のみだった仮想デスクトップ利用を営業部門まで拡大することで、外出先でも販売物流システムにアクセスすることが可能となります。これによって、リアルタイムでお客様の要望する在庫の確認が行ったり、また、自分の事業所にその

バイタルケーエスケーHD 取締役 一峰 宏氏(中央左)
 仙台支店 支店長 加藤 圭一氏(中央右)
 仙台支店 風田 肇子氏(右)
 仙台支店 三浦 佳氏(左)

VITAL KSK HOLDINGS VITAL-NET

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス
 所在地:東京都世田谷区
 創業:2009年4月1日
 代表者:代表取締役社長:村井 幸介
 資本金:50億円
 売上高:621,040百万円(2016年3月期)
 従業員数:3,766名(2016年3月期・連結)

事業内容:医薬品等の卸売業及び小売業等を営むグループ会社の経営計画・管理並びにそれらに付随する業務

URL: <http://www.vitalksk.co.jp>

東北方面中心に医薬品卸業で高い信頼を集める、バイタルケーエスケーHD(東証一部)で、アセンテックの提供するAtrustモバイルシンククライアントが営業用端末として採用されました。

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス
 東証1部 (3151)
 事業内容:医薬品等の卸売業及び小売業等
 従業員数:3,766名 (2016年3月期・連結)
 売上高 :621,040百万円 (2016年3月期・連結)

YAHOO! JAPAN ファイナンス

トップ 株式 FX・為替 投資信託 株価予想 ニュース 金利 企業情報 証券口座 不

ニューストップ | 新着 | 主要 | 経済総合 | 市況・概況 | FX | 日本株 | 雑誌・コラム | 写真記事 | ランキング |

キーワードを入力 ニュース検索 検索オプション

今年大化けしそうな銘柄とは? 株式市場に絶好の買い場が到来!

今が仕込み時の大化け候補を無料公開銘柄診断、濱村比呂史 地政学リスクの下げ相場で仕込むべき黄金3銘柄を無料登録後のコラムも絶賛配信
www.mastere-trade.jp triple-a-invest.jp Ads by Yahoo! JAPAN

アセンテック一統伸 バイタルKSKがAtrust mt178モバイルシンククライアントを採用

9月8日(金)10時45分配信 [トレーダーズ・ウェブ](#)

f シェア ツイート

現在値		
バイタルHD	897	+2
アセンテック	4,130	-80

アセンテック<3565>が統伸。同社は9月7日、バイタルケーエスケー・ホールディングス<3151>の営業社員用端末として、Atrust(エートラスト) mt178モバイルシンククライアントが採用されたと発表した。

Atrustのモバイルシンククライアント、「mt178」は、13.3インチ、薄型A4サイズで、約1.2kgのスリムサイズであり、高性能/省電力のIntel Bay Trailプロセッサを搭載。オフィスでのデスクワーク、外出先でのモバイルワークなど、どこでも優れたセキュア仮想デスクトップ環境を提供できるとした。

ヤフーファイナンス記事
 (2017年9月8日)
 「アセンテック-統伸
 バイタルKSKがAtrust
 mt178モバイルシン
 ククライアントを採用」

プレスリリース：NVIDIA社パートナー契約



ascentech press release
www.ascentech.co.jp

報道関係者各位

2017年8月24日
アセンテック株式会社

アセンテック、GPU の最先端企業 NVIDIA 社と パートナー契約を締結

アセンテックは、デスクトップ PC、ワークステーション、ゲームコンソール等において、先進的なグラフィックスを作り出す GPU (Graphics Processing Unit: グラフィックス プロセッシング ユニット) を開発した、ビジュアル・コンピューティングテクノロジーの世界的リーダー、NVIDIA 社とパートナー契約を締結したことを発表します。

【NVIDIA 社と VDI について】

NVIDIA 社 と VDI の先進グローバル企業 Citrix 社 の提携により、仮想 GPU を利用して、XenDesktop 環境と XenApp 環境で、グラフィックスが充実したデスクトップと対話形式のアプリケーションを実行できるようになりました。NVIDIA GRID テクノロジーにより、厳しいネットワーク状況でリモートアクセスする場合でも、ハイエンドユーザーエクスペリエンスを提供する仮想デスクトップや仮想アプリケーションを使用することが可能となりました。

【コメント】

アセンテック様は日本における VDI 市場において、大きな存在となっており、その高い技術力は数多くのパートナー企業、お客様企業に信頼をされています。本契約により NVIDIA は、アセンテック様を通じ、日本における VDI 市場で、GPU の需要を大きく喚起し、新たなビジネスを創出するものと期待しています。

エスビディア 日本代表 兼 米国本社副社長 大崎真孝



GPU（グラフィック処理ユニット）におけるグローバル企業 NVIDIA社とパートナー契約を締結、8月24日、プレスリリースいたしました。

NVIDIA Corporation.

NASDAQ NVDA

売上高：69.1億米ドル（2017年1月期）

時価総額：約10兆円（101,400,000千ドル：9/11）

YAHOO! JAPAN ファイナンス

トップ 株式 FX・為替 投資信託 株価予想 ニュース 金利 企業情報 証券口座 不
ニューストップ | 新着 | 主要 | 経済総合 | 市況・概況 | FX | 日本株 | 雑誌・コラム | 写真記事 | ランキング |

キーワードを入力 ニュース検索 検索オプション

新型ヴェルファイア/値引き方法 ANA/おトクな国内ツアー情報
ヴェルファイアが7万円も安く買えた！知らない損する、北海道から沖縄まで驚き価格！往復航空券+ホテルがセットで
かんたん車査定/提携 おトク
car-nebiki.info www.ana.co.jp

Ads by Yahoo! JAPAN

アセンテック—ストップ高買い気配、米NVIDIA社とパートナー契約を締結

8月25日(金)10時01分配信 **フェイス**

シェア ツイート

現在値	<3565> アセンテック 7370カ-
アセンテック	4,155 -55

ストップ高買い気配。GPU(画像処理半導体)の最先端企業である米NVIDIA社とパートナー契約を締結したと発表している。

NVIDIAのGPUソリューションはVDI(デスクトップ仮想化)市場でも欠かせないものとなると見込まれており、両社は連携してグラフィックス/映像分野における先進ソリューションをVDI市場に提供していく。同社はVDIソリューションの専門ベンダーとして、関連する様々な製品の販売、開発を行っている。

【HK】

ヤフーファイナンス
記事
(2017年8月25日)
「アセンテック—
ストップ高買い気配、
米NVIDIA社とパー
トナー契約締結」

■ プレスリリース：イベント/セミナー

上半期、仮想デスクトップ、ストレージなどをテーマに、**約20回**のイベント/セミナーを開催。さらに、ウェブマーケティングも含め、**約700件のリード**（見込み案件）を獲得。



アルファテック・ソリューションズ、日本HP共催
「**ハイパーバイザー不要で低コスト
仮想デスクトップを実現！実機解説セミナー**」
2017年2月7日（火）、3月9日（木）開催
登録65名、来場43名



デル、Citrix共催
「**先進ハイパーコンバージドインフラセミナー**」
2017年2月8日（水）開催
登録85名、来場47名



ラネクシー共催
「**働き方改革セキュリティセミナー**」
2017年7月12日（水）開催
登録41名、来場28名

■ 1

2018年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2018年1月期 第2四半期業績進捗

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

事業戦略の進捗

- オリジナル製品の開発と展開
- 海外テクノロジーベンダーとのアライアンス強化
- プロフェッショナルサービスの拡大

新製品「Resalio Lynx 700」の発表（2017年9月14日）



**すべてのPCをシンククライアントに！
本日発表。
特許出願中！**

- ◆ 当社オリジナルソフトウェアで、既存のWindows PCを容易にシンククライアント化。
- ◆ USBなしで起動、セキュアにテレワーク専用端末としての活用が可能。
- ◆ 年額3,000円（保守込み、税別）という低料金で提供。

利用手順



「Resalio Lynx 700」と既存製品の違い

USBリブートで
シンクライアント化



Windows PC

既存製品 Resalio Lynx 300/500



USBブートでシンクライアント化
起動率、OSアップデートに課題
Windows PCとの兼用可能

シンククライアント
専用機に！



Resalio Lynx 700



内蔵ディスクから起動、起動率は100%
OSアップデートも容易
Windows PCとの兼用は不可
低料金

「リモートPCアレイ」上位モデルの発表（2017年9月4日）



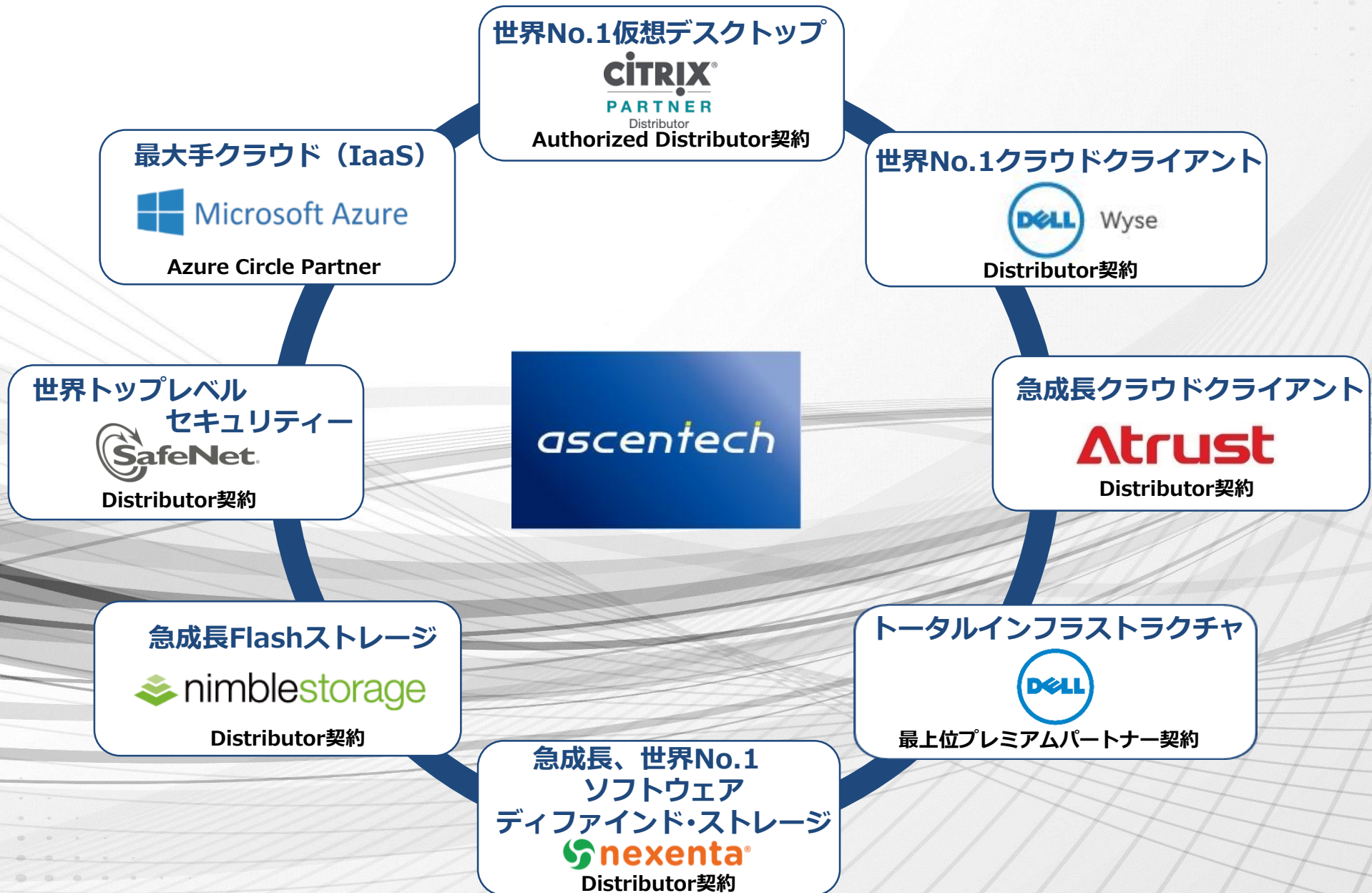
Remote PC Array (RPA)

- 省スペース、低消費電力PCモジュール技術
- 管理用ソフトウェアの開発
- 半導体ストレージSSD技術により、**サーバ筐体に20台のPCを集約**



- ◆ リモートPCアレイに
 - Intel Quod Core CPU
 - 8GB Memory
 - 128GB SSDを搭載した、新製品を発表
- ◆ CPU性能を約1.8倍向上

海外テクノロジーベンダーとのアライアンス強化 2017年4月25日



- 仮想デスクトップの新たなステージへ！

NVIDIA社とのパートナー契約締結 (8月24日)

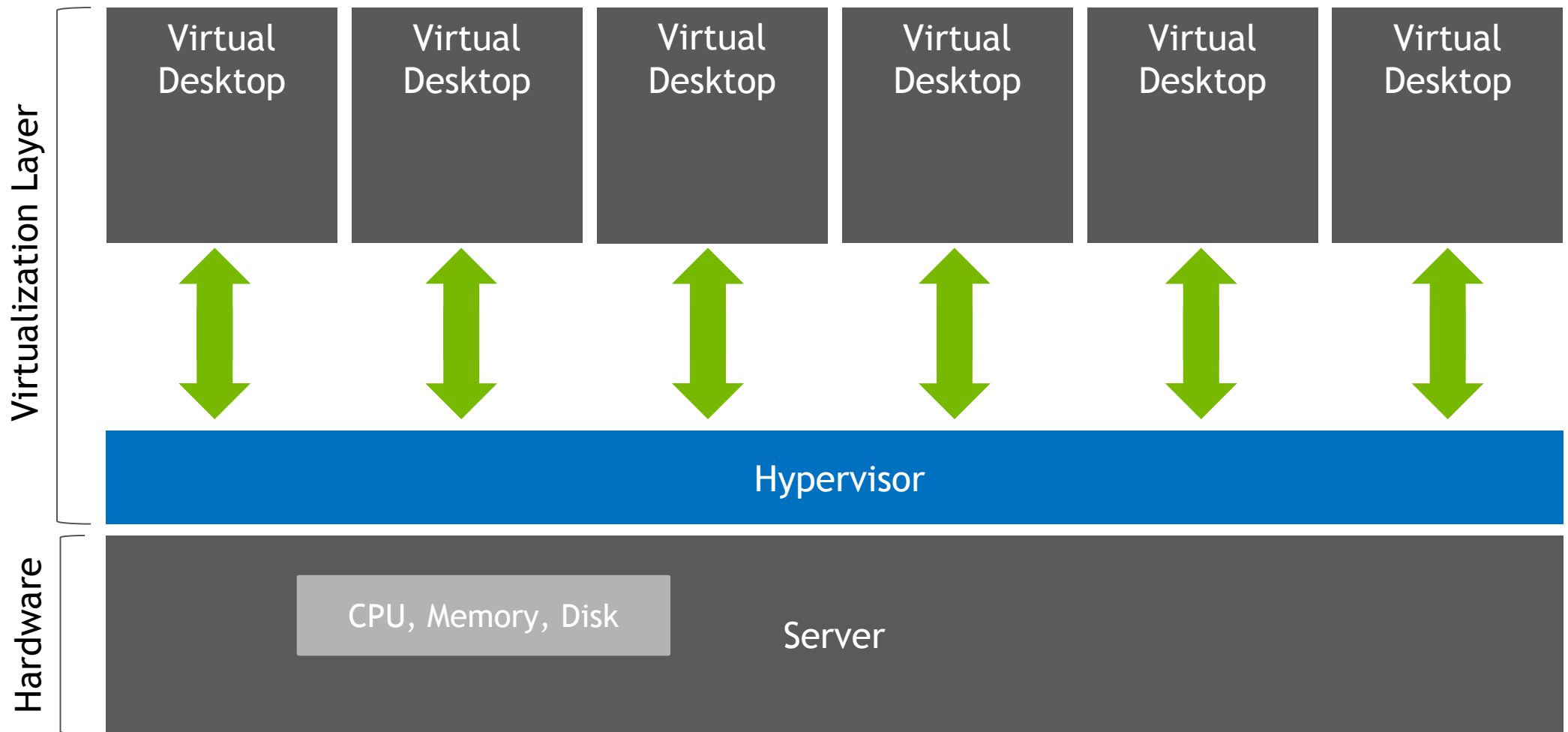


- 仮想インフラ及びストレージビジネス強化！

Quantum社とのパートナー契約締結 (8月21日)

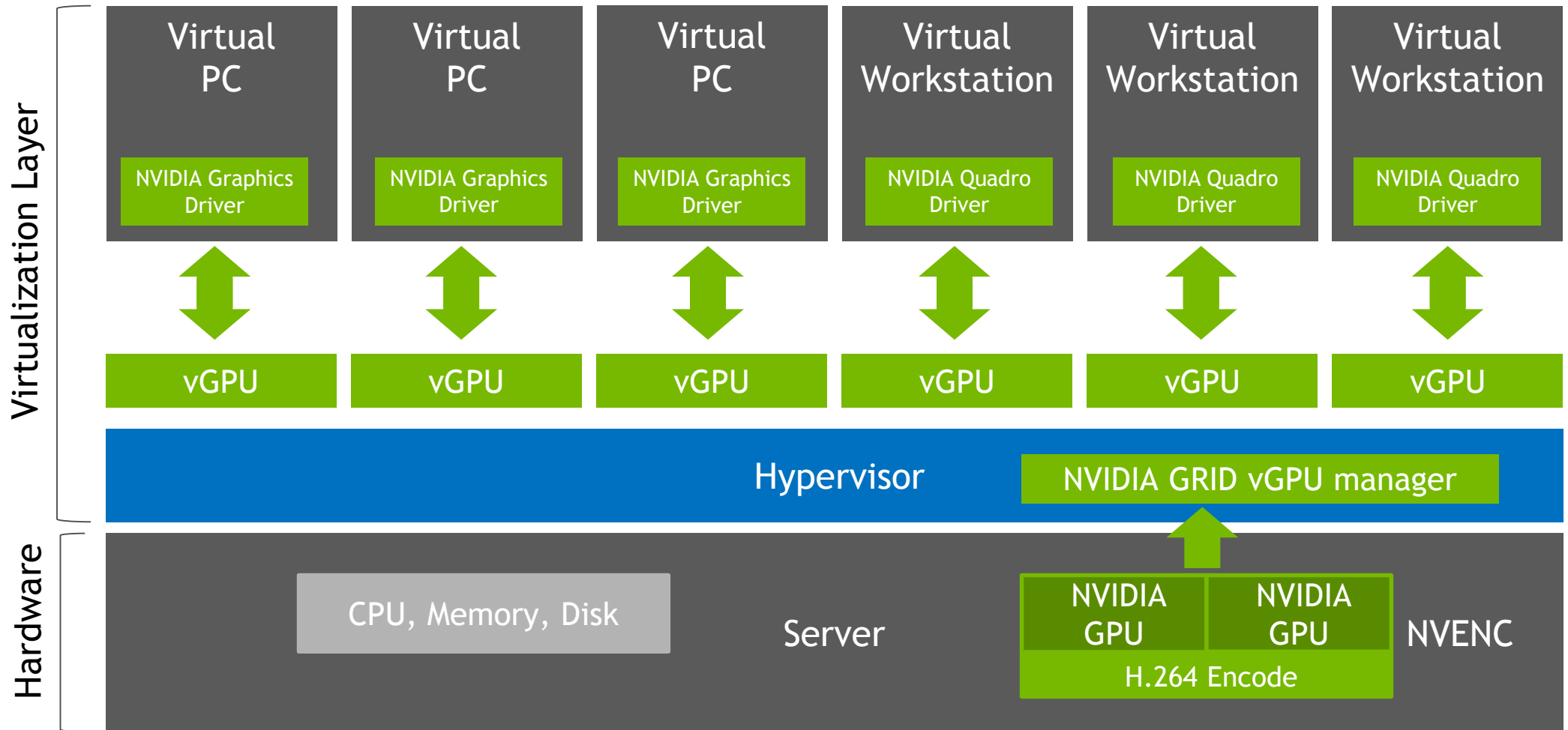


一般的な仮想デスクトップの仕組み



NVIDIA社との協業の意義

仮想デスクトップにNVIDIAソリューションの組み込み



NVIDIA社との協業の意義

NVIDIAソリューションを仮想デスクトップシステムに組み込むことで、高度のアプリケーションが仮想環境で利用可能に！



Win10/Office2016 では 512MB以上のグラフィックメモリを必要とするため、VDI 化の際に GPU リソースを用意しておく必要あり。

Windows 10も高速化！



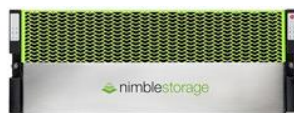
CAD/CG等3Dアプリも実用化！

Quantum社との協業の意義

オンプレミスからクラウドまで全てに対応するストレージ製品の拡充

自社所有（オンプレミス）

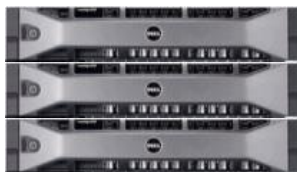
HPE
高性能ストレージ



 nimblestorage

ローコストユニファイドストレージ

 nexenta™



コンバージド・インフラストラクチャ

 DELL EMC

VXRail



クラウド事業者

ローコストユニファイドストレージ

 nexenta™



大容量テープライブラリー

 Quantum®

Scalar i6, AEL6



クラウド連携

クラウドハイブリッドSANストレージ

 Microsoft Azure

storsimple 



クラウド連携アーカイブ専用NAS

 Quantum®

Artico



クラウド連携NAS
仮想アプライアンス

 Microsoft Azure

Microsoft StorSimple Virtual Array
(ESX/Hyper-V対応)



■ オフィス移転計画 (10月2日、秋葉原大東ビル9Fに移転)

1. 拠点の一元化で、移動時間・移動経費削減
2. ワンフロアに集結、部門間のコミュニケーション向上
3. フリーアドレスの採用 (役員、営業、SE対象)
4. マーケティング(リード) → 営業 (提案・契約) → SE(設計・構築・保守)
チーム一体となりお客様に迅速に対応。
5. 従業員増への対応 (従業員 x 0.7の席数)



執務エリア (イメージ)

+



VDIイノベーションセンター

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

The logo for Ascentech, featuring the word "ascentech" in a white, lowercase, sans-serif font. The letter 'i' in "tech" has a small yellow dot above it. The logo is centered within a dark blue rectangular background.

ascentech